

## 会 議 摘 録

<b>会議名称</b>	御幸公園 <sup>うめかおる</sup> 梅香事業第9回推進会議
<b>日 時</b>	平成29年3月22日（水） 15:30～17:00
<b>会 場</b>	幸区役所4階第4会議室
<b>出席者</b>	<p><b>【委員】</b></p> <p>上野区長（委員長）、道路公園センター 吉濱所長（副委員長）、金井委員、佐野委員、坂口委員、高木委員、君和田委員、永田委員、服部委員</p> <p>地域振興課 高相課長（幸観光協会代理）</p> <p><b>【関係者】</b></p> <p>総務課 吉原担当係長、原田職員</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>道路公園センター 管理課 笠原係長、長谷川職員</p> <p>整備課 箕輪担当課長、田中係長、山下職員</p>
<b>欠席者</b>	楠木委員、服部委員
<b>傍聴者</b>	3人
<b>配布資料</b>	<p>議事次第</p> <p>資料1 第8回御幸公園梅香事業推進会議平成28年度梅林視察報告</p> <p>資料2 平成29年度うめかおる写真展について</p> <p>資料3 うめかおる寄附・募金について</p> <p>資料4 平成29年度御幸公園梅香事業推進スケジュール（案）</p> <p>参考資料1 御幸公園梅香事業実施要綱</p> <p>参考資料2 御幸公園梅香事業推進会議設置要綱</p> <p>参考資料3 「御幸公園梅香事業」推進会議 名簿</p> <p>参考資料4 平成28年度御幸公園梅香事業スケジュール</p> <p>参考資料5 計画期間の主な取組（案）H27～H37</p> <p>参考資料6 御幸公園梅香事業 第7回推進会議摘録</p>
<b>議 題</b>	<p>(1) 平成28年度御幸公園梅香事業梅林視察報告</p> <p>(2) 平成29年度うめかおる写真展について</p> <p>(3) うめかおる寄附・募金について</p> <p>(4) 御幸公園梅香事業推進計画について</p> <p>(5) 平成29年度御幸公園梅香事業推進スケジュール（案）について</p>
<b>決定事項</b>	<p>◎ 平成29年度うめかおる写真展の応募作品について確認し、決定した。</p> <p>◎ 御幸公園の梅をテーマにした絵画コンクール等のたたき台を作成する。</p> <p>◎ 平成29年度は梅の専門家として大坪孝之氏を招き、御幸公園を視察する。事務局</p>

	<p>は専門家と調整を行う。</p> <p>◎ 次回推進会議の日程は、5月に調整する。</p>
<p>会議の内容 及び 主な発言</p>	<p>1 開会</p> <p>○ 委員長挨拶</p> <p>委員の皆様のご意見をいただき、平成 29 年 2 月に御幸公園梅香事業推進計画を策定することができた。ありがとうございました。</p> <p>観光協会会長の深瀬委員は、体調不良で療養していたが、2月末に亡くなられた。また、佐藤委員が体調不良のため、坂口氏が後任として委員を務めることとなった。御不幸や委員の変更等できみしくもあるが、平成 29 年度以降も、市制 100 周年に向けて、梅香事業について議事を進めていきたい。</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 平成 28 年度御幸公園梅香事業梅林視察報告</p> <p>事務局から、資料 1 の説明を行った。</p> <p>○ 御幸公園での梅まつりは何年に実施を予定しているか。</p> <p>→ 梅の咲き具合によって規模や方法が変わってくるため、今後調整する。</p> <p>○ 梅まつりは毎年実施していくか。</p> <p>→ 規模の大小はあるが、毎年実施し市制 100 周年で本格的な梅まつりを実施できるようにしていきたい。平成 31 年度実施に向けた予算要求や運営体制の検討を平成 29 年度から行っていく予定である。</p> <p>○ ガイドツアーとはどういうことを想定しているか。</p> <p>→ 神代植物公園の案内であったように、梅、桜、桃の見分け方、梅の種類、由来など説明し、訪れた人に楽しんでいただくようなものがないか考える。</p> <p>○ 専門家からのアドバイスについては後日事務局より提案いただく予定である。</p> <p>→ 専門家から御幸公園の梅林におけるアドバイスをいただくにあたり、専門家を招き御幸公園の現地視察を行う必要がある。</p> <p>○ 4月～6月の間に1回会議を追加し、現地視察を入れるのはどうか。</p> <p>○ 梅林視察における意見は、後日でもかまわないので意見をいただきたい。平成 29 年度の推進会議の中で議論していく。</p> <p>(2) 平成 29 年度うめかおる写真展について</p> <p>事務局から、資料 2 の説明を行った。</p> <p>平成 29 年度うめかおる写真展の展示内容については、確認し決定した。</p> <p>○ 写真展では各作品についてキャプション（題名）をつけるか。</p> <p>→ すべての作品にキャプションをつけ、撮影者名を公表することについて、提出者に確認する。また、申込時に撮影場所と時期を任意で記入するよう周知</p>

している所以他们の情報も参考にしたい。

- 写真番号 23・1 は人物が写っているが、公表して差し支えないか。
  - 募集要項に、人物が写る場合の注意事項があり、了承を得てから応募いただいている。
- 写真はどれくらい展示できるか。今後、それを越えた場合の対応はどう考えているか。
  - 写真のサイズにもよるが、150 点ほどまで展示できると考える。今回の募集では約 70 点の応募であり、ひとまずはこの規模の展示を実施し、平成 29 年度以降の推進会議で対応を検討していく。
- 写真展の写真サイズはどのくらいか。また、今後は表彰等を考えているか。
  - 写真サイズは 2L 版（一般的な写真サイズ）以上で募集したが、A3 ノビというサイズもあり、大きさ等の対応について今後検討していく。また、表彰等についても平成 29 年度以降の推進会議で対応を検討していく。
- 応募の時に額をつけるようになっていたか。
  - 要項に額はつけないよう記載している。
- 表彰を想定した場合、審査などに支障が出るため、委員の出品は今後も控えるべきか。
  - 賞の選定に制限がかかることが想定されるが、今後の推進会議で議論していく。

### (3) うめかおる寄附・募金について

事務局から、資料 3 の説明を行った。

内容について、異議なし。

- 寄付の開始時期について
  - 当初は平成 29 年 4 月 1 日を予定していたが、土曜であるため 4 月 3 日月曜からの受付とする。
- 寄付の事前申し込みについて
  - 現段階ですでに 2 件ほどの寄付の申し出と 10 件の問い合わせがあった。受付前の申し出については例外的に受け付けることとしている。
- プレート設置について
  - 植樹とあわせて 3 月にプレート設置を行う予定である。最初のプレート設置は平成 30 年 3 月を予定している。
- 寄付金の反映について
  - すべて各年度内に植樹や銘板の設置を行っていく。
- 銘板は年度ごとに新しく建てていくのか。
  - 寄付者数に応じて調整していく。

○ 銘板の設置場所について

→ 今後推進会議で議論していく。

(4) 御幸公園梅香事業推進計画について

事務局から、資料4について変更箇所を抜粋し説明を行った。

委員長から、一通りの説明を行った。

○ 配布部数について

→ 本編を400部、概要版を1,000部用意する予定であるが、必要に応じて来年度以降に増刷を検討する。

○ 古市場地区は地域の歴史を知りたい人が多く、計画書の内容を住民に説明したい。

→ 概要版を200部白黒で印刷し、提供する。

(5) 平成29年度御幸公園梅香事業推進スケジュール(案)について

御幸公園の梅をテーマにした絵画コンクール等について、たたき台を事務局で作成し、平成29年度の推進会議で議論する。

平成29年度は推進会議を1回追加し、梅の専門家として大坪孝之氏を招き、御幸公園を視察する。事務局は専門家と調整を行う。

○ 絵画コンクールは学校等との連携が考えられるが、学校等で取り組み予定はあるか。

→ 現在、御幸公園に隣接している小学校等に声かけをしている。特に小学校の場合、6年生に風景画を描くカリキュラムがあり、その中で梅の景色を勧めたいと考えている。

○ 区の事業である「鹿島田駅環境整備連絡会議」のなかで、駅近隣の小中学校に依頼して環境ポスター展を実施している。優秀者には表彰と記念品の贈呈をしていて、手法を参考にできるのではないか。

○ より身近に御幸公園の梅が感じられるよう、ギャラリーバス(市バス)にも絵をのせることはできるか。

→ コンクールに加え区庁舎での絵画展開催など、さまざまな機会を活用したい。平成29年度推進会議で議論していく。

○ 梅の植樹ということで、今年から市立商業高等学校が幸高等学校へ名称を変更したことを記念して、区の木(ハナミズキ)、区の花(やまぶき)とともに梅の木を区から贈呈した。

○ 梅林の維持管理について、専門家に依頼し推進会議等でアドバイスをいただけないか。

→ 推進会議設置要綱(参考資料2)第3条6項の適用ができ、差し支えないと

考える。御幸公園で実際に視察してもらったことができたらいいと思う。

- 推進会議のメンバーも土壌のことや樹木のことでも知りたいのでぜひ一緒に視察したい。
- 視察で訪れた場所は梅を植えてから 30 年以上経過した場所が多く、御幸公園も今後同様になるか不安であるため、専門家の意見を聞きながらじっくり推進会議を進めてよいと思う。梅香事業が区民とともに進めることにつながる。
  - 専門家に御幸公園の梅の植樹状況などを確認いただきたい。
- 梅香事業として歴史を作っていくために、永続的、持続的に続けていく必要があり専門家に参画してもらいたい。
- 大坪先生と調整をし、御幸公園の視察を 1 回行うこととする。
- 上野区長には委員長及び区長退任後も推進会議に関わってもらえないか。
  - 公募市民というやり方もあるが、今後検討していく。

#### (6) 今後のスケジュール

第 10 回推進会議の日程については 4 月以降に調整を行う。また、平成 29 年度に推進会議を専門家視察として行う。

### 3 その他

特になし

### 4 開会

#### ○ 副委員長挨拶

第 9 回推進会議まで、御幸公園が子どもから高齢者まで、世代を超えて楽しめるように検討を進め、御幸公園梅香事業推進計画を策定することができた。今後は計画スケジュールが遅れないよう実施していきたい。

#### ○ 委員長挨拶

御幸公園梅香事業は、区民の方々と楽しみながら進められた事業でした。区政 100 周年に向かって、幸区は夢、希望、未来があふれている。今後も地域を巻き込みながら、梅香事業が長く続けていけるよう願っている。

以上